

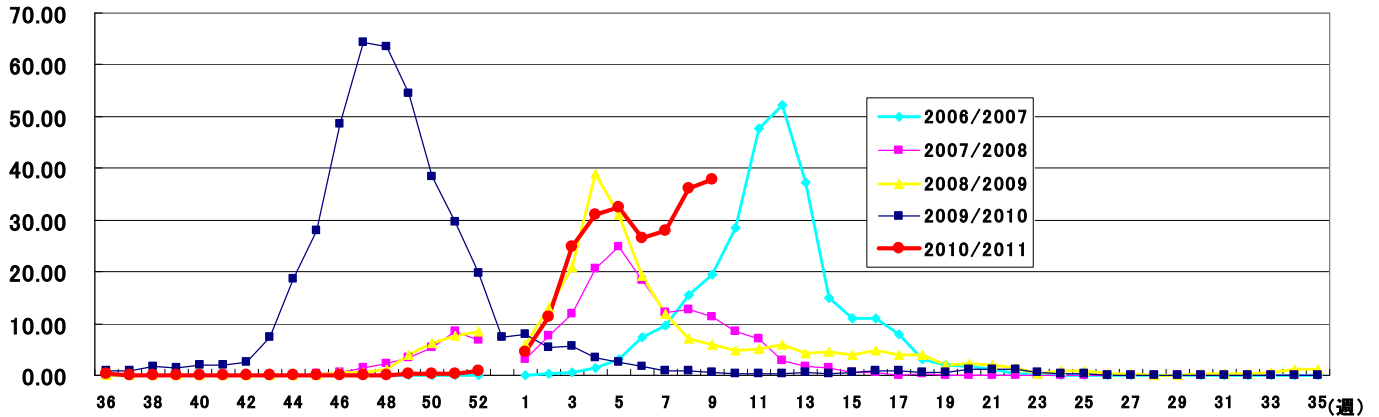
# インフルエンザの流行状況について(2)

※山口県のインフルエンザの定点あたりの報告数は第4週に30以上となり、県では2月4日付けでインフルエンザ流行発生警報を発令しています。第9週現在も**警報レベル**が続いています。

## 1. 流行状況

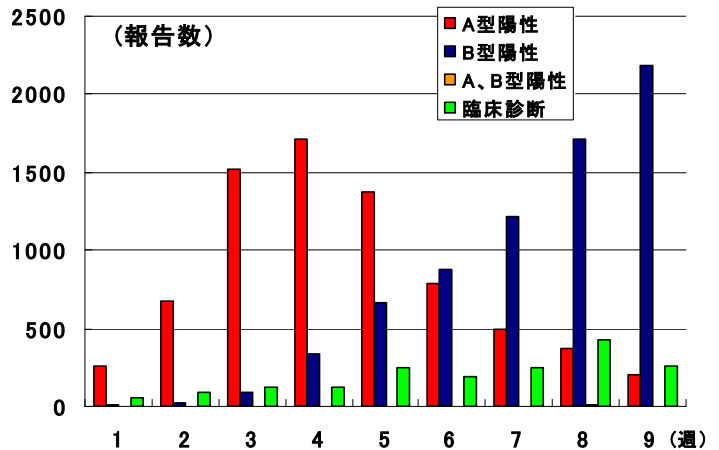
各シーズンの発生動向をグラフにしたものです。今シーズンは第1週頃から急増し第6週に減少しましたが、再び増加し、第9週は最多報告数となりました(第9週現在)。流行するウイルスの型がA型からB型へ移行した影響と思われます。

(定点当たりの報告数)



## 2. 迅速検査の結果

1月はA型陽性が多くみられましたが、徐々にB型が増加し、第6週(2月上旬)以降はB型優勢となっています。



## 3. 地域別発生状況

長門以外の地域は依然として多い状態が続いています。特に、岩国、下関、防府については増加を続けていますので注意が必要です。

